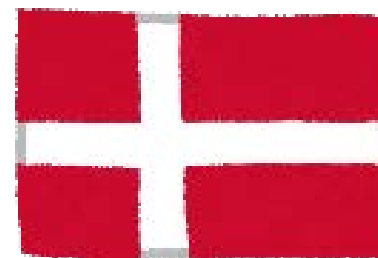


東京 2020 オリンピック・パラリンピック 登別市におけるホストタウンの取組



登別市の概要



登別市は、北海道の南西部に位置し、東西 18.5 km、南北 22.6 km にわたり、面積は 212.21 km² となっています。

豊富な湯量を背景に、登別温泉、カルルス温泉を中心とした観光産業が盛んです。

気候は、夏は涼しく、冬は北海道の中でも比較的温暖で、降雪量も少ないことから、一年を通じて過ごしやすい地域です。

季節ごとの風景の変化が大きく、自然の営みを身近に感じることができます。

※人口：48,548 人（平成 30 年 6 月末現在）

登別市の温泉の概要

登別市は日本を代表する温泉リゾート地で、国内外から毎年約400万人もの観光客を迎えています。

登別温泉の大きな特徴は、9種類もの源泉が湧き出していること。これは世界的にも珍しく、登別温泉は『温泉のデパート』とも言われています。また、山峡の名湯として名高いカルルス温泉は、北海道第一号の「国民保養温泉地」に指定され、多くの方が保養に訪れます。

最近では、国内のほか、台湾、韓国、中国、香港など、海外から訪れる人も年々増加し、約52万人が宿泊しております。そのため、温泉街では外国の言葉や文化を学ぶなどして、海外からのお客様のおもてなしにも力を入れています。温泉は、疲労回復に効果があることから、競技を終えたアスリートの疲れを癒すには最適です。



※訪日外国人（国・地域別）宿泊延人数

- 1位：台湾 164,230人
- 2位：韓国 137,227人
- 3位：中国 104,450人
- 4位：香港 40,143人

注) 平成29年度数値

デンマーク王国ファボー・ミッドフュン市との友好都市の提携



登別市とデンマーク王国との交流は、1990年7月に開園した水族館である登別マリパークニクスの子供城が、デンマーク王国のリング市（現ファボー・ミッドフュン市）にある「イーエスコー城」をモデルに建設され、開園式にイーエスコー城主夫妻をはじめミッドフュンズ高校の合唱団総勢52名が登別市を訪問したのがきっかけで始まりました。その後、民間団体による活発な交流を経て、1997年（平成9年）に、デンマークのリング市（当時）、ウィスリング市（当時）と登別市の3市で、市民同士の友好とお互いの理解を深めるため、「友好の絆 Bond of Friendship」を取り交わしました。

また、10年後の2007年（平成19年）には、リング市、ウィスリング市が近隣のまちと合併し誕生したファボー・ミッドフュン市と、さらなる市民交流・文化交流の推進を目指して、「友好都市協定」を結び、現在の友好関係に至っています。



登別マリパークニクスの水族館ニクス城



イーエスコー城

東京オリンピック・パラリンピック ホストタウン

デンマーク王国ファボー・ミッドフュン市とのこれまでの交流の歩み



- 1990年 7月 登別マリパークニクスが開園。
- 1992年 8月 登別市の中学生を初めてデンマーク王国に派遣。
- 1995年 11月 リング・ウィスリング・登別友好協会設立（設立当時：会員約100名）。
- 1996年 6月 登別デンマーク協会設立（設立当時：個人会員77名、法人会員11団体）。
- 1997年 5月 登別市とリング市・ウィスリング市が「友好の絆」を交わす。
- 2000年 7月 登別マリパークニクス開園10周年と登別市の市制施行30周年を祝うため、リング・ウィスリング・登別友好協会の会員が来訪。
- 2007年 6月 登別市とファボー・ミッドフュン市が「友好都市協定」を締結。
- 2010年 7月 登別マリパークニクスの開園式にミッドフュンズ高校の合唱団の一員として来登した音楽家ポール・バルスレウ氏が、登別市の市制施行40周年記念事業としてピアノコンサートを開催。
- 2015年 7月 登別マリパークニクス開園25周年を記念して、ファボー・ミッドフュン市より22名が来訪。

※2015年7月 ファボー・ミッドフュン登別友好協会来訪



※2010年7月 ポール・バルスレウ氏によるピアノコンサート



東京オリンピック・パラリンピック ホストタウン

市民による交流



登別市では民間団体においてデンマーク青年研修員の定期的な受け入れ事業を実施しており、1994年度からこれまで28名の青年研修員が、ホームステイをしながら日本の家庭生活を体験するとともに、市役所や市内小中学校、民間文化施設で、デンマークの紹介や日本文化に触れる体験を通して、多くの登別市民と交流しています。

また、登別デンマーク協会の取組として、毎年1～2名の青年会員をファボー・ミッドフュン市に派遣しており、2003年度からこれまで15名の協会員を派遣するなど、市民レベルでの交流が活発に行われております。

※2017年 デンマーク王国からの研修生イエスパー・エルベック・イエンセン氏が登別市長を表敬



登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流事業



1992年からこれまで、231名の派遣交流団員が、友好都市のデンマーク王国ファボー・ミッドフュン市を訪問し、ホストファミリーのもとでホームステイをしながら現地の中学生や地元の方々と交流を深め、日本との異なる生活や文化を体験することにより、国際理解を深め、国際社会に対応できる豊かな人間性を身に着けるとともに、デンマーク王国との更なる交流推進の一役を担っています。

なお、本事業については、ファボー・ミッドフュン登別友好協会と登別デンマーク協会の両民間団体に協力をいただきながら実施しており、今年度も、8月9日から18日の日程で、6名の中学生と2名の引率者がファボー・ミッドフュン市を訪問します。

※2016年 イーエスコー城を背に派遣交流団員とホストファミリーが交流



東京オリンピック・パラリンピック ホストタウン

本市のホストタウンの登録と目的

平成29年10月、本市は、在札幌デンマーク王国名誉領事館を通じて、駐日デンマーク王国スヴェイネ大使にホストタウン登録に向けて協力を依頼したところ、快く承諾をいただいたことから、ホストタウン第五次登録に申請したところ、平成29年12月11日、デンマーク王国を相手国としたホストタウンに登録されました。

【本市におけるホストタウンの目的】

1. 子どもたちがオリンピック・パラリンピアンから直接スポーツの素晴らしさを学ぶことで、自分も将来オリンピックに出場したいといった夢や希望を持つきっかけづくりにつなげる。
2. ホストタウンを契機としてデンマーク王国の関係者とより多くの市民が交流することで、さらなる国際交流の推進を図る。
3. ホストタウンとしてあたたかいおもてなしの心でお迎えし、当市の魅力を発信することにより、インバウンドの拡大につなげる。
4. 市制施行50周年記念事業とタイアップし、国際交流やスポーツ振興の推進の機会とする。

登別市交流計画の概要

団体名

北海道 登別市

相手国・地域

デンマーク

2016～
(大会開催まで)

市民への周知

- ・ 国際理解講座
 - ・ 小中学校での出前授業（文化紹介）
 - ・ 応援SNSの立ち上げ（ツイッター）
 - ・ 応援メッセージの作成
 - ・ 公共施設等へのデンマークPRコーナーの設置
- 【市民の応援機運を高める】



2020
(大会中)

相手国の応援・交流

- ・ 相手国関係者との交流会の開催
 - ・ 応援団の派遣
 - ・ パブリックビューイングによる応援
- 【応援への市民参加】



2020
(大会直後～)

- 競技終了後
オリンピック・
パラリンピアン
との交流
 - ・ 報告会
 - ・ スポーツ交流
- 【選手と市民の交流】



選手によるスポーツ指導等



交流の継続

オリンピック・パラリンピアンとの交流

- ・ 日本人選手による講演、競技体験【スポーツ教育】



登別市～ファボー・ミッドフュン市（デンマーク）友好都市交流事業
(中学生派遣交流事業やデンマーク成年受入事業をはじめ交流事業の拡大を目指す)
【ファボー・ミッドフュン市との相互交流がホストタウン事業の基盤】



登別市内スポーツ競技人口

現在、ホストタウンのスポーツ種目については決まっておきませんが、子どもたちが親しみやすく、市内に少年団やスポーツ教室があるなど、スポーツ交流が図れる競技が望ましいと考えております。現在、駐日デンマーク王国大使館より、本国のデンマークスポーツ協会に対し、以下の競技を中心に、登別市を訪問していただける競技団体がないか調整をさせていただいております。

競技	競技人口	備考
バドミントン	4 3 8 人	登別市バドミントン協会会員数 登別市スポーツ少年団登録者数
水泳	1 7 3 人	登別水泳協会会員数
卓球	1 2 1 人	登別卓球協会会員数
テニス	1 1 4 人	登別ソフトテニス協会会員数
陸上	2 0 人	登別市スポーツ少年団登録者数



東京オリンピック・パラリンピックに向けたこれまでの取組について

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックを契機として、子どもたちの夢を育み、スポーツの活性化を図ることを目的に、次の事業を実施しています。

➤ 平成 28 年 5 月 日本人オリンピック (千葉真子氏)

※このほりマラソンに参加する千葉真子氏

によるトークショー及び実技指導

平成 28 年 5 月 7 日～ 8 日、陸上の元オリンピック選手である千葉真子氏を招き、講演会や実技指導を行いました。



➤ 平成 29 年 10 月 日本人オリンピック (小椋久美子氏)

※実技指導をする小椋久美子氏

によるトークショー及び実技指導

平成 29 年 10 月 1 日、バドミントンの元オリンピック選手である小椋久美子氏を招き、トークショーや実技指導を行いました。



ホストタウン登録後の取組について(平成30年度～)

①平成30年4月 駐日デンマーク王国スヴェイネ大使来訪に伴う講演会及び交流会

平成30年4月26日～27日、駐日デンマーク王国スヴェイネ大使がはじめて本市を訪れ、交流の契機となった登別マリンパークニクスなどを視察するとともに、訪問先の中学校では、全校生徒と市民に対し、デンマーク王国の文化・生活・スポーツなどについて講演いただいたほか、高校生とは通訳を介さない英語のみでの交流を行い、デンマーク王国の教育や文化などについて、理解を深めました。

※登別マリンパークニクス



※中学校での講演会



※高校生との英語での交流



ホストタウン登録後の取組について(平成30年度～)

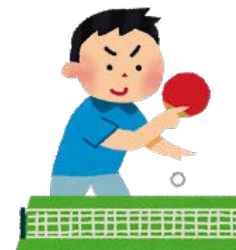
②平成30年8月 登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流事業(予定)

市内の中学生6名、引率者2名をデンマーク王国ファボー・ミッドフュン市に派遣し、青少年との交流やホームステイなど日本とは異なる生活・文化の体験を通じ、生徒の豊かな人間性と広い視野を育み、ファボー・ミッドフュン市との交流を行います(日程:8月9日～18日)。

なお、今年度は、新たな試みとしてホストタウン登録を記念し、駐日デンマーク王国スヴェイネ大使のご尽力により、デンマーク王国滞在中の派遣団が、デンマークオリンピック委員会・スポーツ連合(DIF)所管のオリンピック関連施設を視察します。

③平成30年9月 日本人オリンピックによるトークショー及び実技指導(予定)

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、子どもたちの夢を育み、スポーツの活性化を図るため、リオデジャネイロオリンピック卓球日本代表である丹羽孝希選手によるトークショー及び小中学生や高校生を対象とした実技指導を行います(日程:9月30日)。

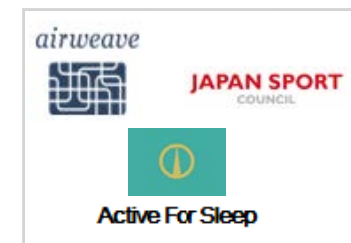


ホストタウン登録後の取組について(平成30年度～)

④平成30年10月 A4S (アクティブ・フォー・スリープ) プロジェクト (予定)

独立行政法人日本スポーツ振興センター (JSC) と(株)エアウィーヴが連携するA4Sプロジェクトを活用し、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、機運の醸成や市民のスポーツに親しむ機会の創出のほか、健康増進を図るため、市民のホストタウンへの理解を深めるとともに、良質な睡眠の確保と運動習慣の定着を目指した取組を行います。

※A4Sロゴ



⑤平成30年10月 運動と食事をテーマとした父と子の親子料理教室 (予定)

東京2020オリンピック・パラリンピックのゴールドパートナーである(株)明治の食育プログラムを活用し、(株)明治からの派遣講師より、バランスの良い食事のとり方をはじめ、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて練習を重ねているトップアスリートの事例も交えて、スポーツと栄養に関するセミナー及び料理教室を開催します。

※親子料理教室



ホストタウン登録後の取組について(平成30年度～)

⑥平成30年11月 国際理解講座(予定)

市民のデンマーク王国に対する理解を深めるため、オリンピック・パラリンピック等経済界協議会と連携し、本協議会「バリアフリー」の幹事企業である富士通(株)の協力をいただき、(株)富士通総研の社員で、デンマーク王国に5年間居住経験のある森田麻記子氏を講師として招き、市民にデンマーク王国の文化や歴史などを紹介する国際理解講座を開催します。

※今回「LiveTalk」による翻訳支援を実施予定。

※森田麻記子氏



⑦平成30年12月 パラアスリートによる講演(予定)

障がいや障がい者スポーツへの理解を深めるため、地方創生に関する包括連携協定を締結したあいおいニッセイ同和損害保険(株)所属の障がい者スポーツ選手である松元卓巳選手(競技:デフサッカー※聴覚障がい者によるサッカー)を12月の「障害者週間」にあわせて招き、講演会を開催します。

※松元卓巳選手





2020年の東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンを通じて、日本とデンマークの友好の懸け橋となれるよう取り組んでまいります。

